

共同プレスリリース

2026年6月2日  
韓国観光公社・Peach Aviation 株式会社

## 韓国観光公社とPeach、訪韓日本人拡大に向けた連携協定を締結 ～韓国の新たな魅力発信と新規需要創出を加速～

韓国観光公社(本社:大韓民国江原特別自治道、社長:朴 聖嫻、以下:KTO)とPeach Aviation 株式会社(本社:大阪府、代表取締役 CEO:大橋 一成、以下:Peach)は、本日、日本人観光客の訪韓拡大を目的とした連携協定を締結いたしました。



左から、Peach Aviation 株式会社 CEO 大橋 一成、韓国観光公社 社長 朴 聖嫻

2025年の訪韓日本人客数は約365万人を記録し、韓国は日本人にとって最も身近な海外旅行先となっています。Peachは本邦航空会社の中で、最多の韓国路線および便数を誇っており、日韓を結ぶ気軽な移動手段として、両国の交流促進に貢献してまいりました。本協定では、Peachの幅広いネットワークとKTOが推進する地方観光の魅力を掛け合わせ、特に以下の4項目を重点的に推進します。

1. **韓国方面の日本人利用客拡大のための共同プロモーション等の実施:** Peachの幅広いネットワークを活かし、新規顧客の獲得や訪韓需要の拡大に向けた共同プロモーションおよびキャンペーンなどを段階的に実施します
2. **観光・マーケティングに関する情報の相互共有:** 両者が持つ顧客動向や市場データ、最新の現地情報などを相互に提供し合い、より効果的な情報発信に役立てます
3. **韓国地方観光の活性化および地方誘客に関する相互理解・連携:** 韓国へ気軽に何度も訪れるリピーターを増やし、韓国全体の地方観光の活性化を目指します
4. **その他、両当事者が必要と認める事業:** 日韓間の観光交流をさらに増進させ「2028年まで訪韓外来客数3,000万人達成」という目標に寄与するための新たな取り組みについて、柔軟に検討します

両社は、今回の協定を通じ、韓国を「日常の延長」として訪れる文化をより一層促進し、日韓間の観光交流のさらなる発展に寄与してまいります。

#### 韓国観光公社について

韓国の観光振興を目的として設立された公共機関で、韓国観光の海外プロモーション、外国人観光客誘致、観光資源開発、観光産業支援などを通じて、韓国観光産業の発展に取り組んでいます。30 の海外支社を運営し、日本では東京支社、大阪支社、福岡支社の 3 支社で、日本から韓国への観光客の誘致活動を行っています。

#### Peach について([www.flypeach.com](http://www.flypeach.com))

Peach は新千歳、成田、中部、関西、福岡、那覇の 6 空港を拠点とし、国内線 25 路線、国際線 15 路線に就航しています。新しいコーポレートメッセージ「昨日までの私たちができなかったことを。」のもと、これまでの身近さ、気軽さに加え、新しい価値を提供するために挑戦し進化し続けます。安全運航を最優先に、基本品質と独自価値を今まで以上に磨き上げ、多くのお客さまから安心して選ばれる航空会社を目指してまいります。